

Case Study

支部ケース・スタディ

東海支部

愛知のケーブルテレビ全局で 高校野球を盛り上げる

愛知県ケーブルテレビ協議会

編成制作ワーキンググループ主査

桂 博之

(スターキャット・ケーブルネットワーク(株) 映像メディア本部 編成制作部長)



県内全ての球場から中継実施

愛知県ケーブルテレビ協議会(以下、協議会)では、2017年度から、県内全14局が共同で夏に開催される全国高等学校野球選手権愛知大会の中継および放送に取り組んでいます。

中継は、愛知県内全ての球場(全10球場)の1回戦から準々決勝までの約190試合実施しています。そして中継した約190試合の中から、全局が自局エリア内の出場校(地元校)の試合を生中継または録画で全て放送しています。

多くの人々が注目する高校野球を中継・放送することで地域を盛り上げる、そしてコミチャンを見てもらうきっかけをつくることなどが目的です。

この取り組みは、各局の編成制作担当者で構成された協議会の下部組織「編成制作ワーキンググループ(以下、WG)」が中心となり進めています。

「とにかくやってみよう！」 協議会全体の前向きな思いが 推進力に

それまでも愛知県では高校野球中継は実施されていましたが、全局は参加しておらず、2016年の夏の大会時点では、県内10球場のうち7球場しか実施されていませんでした。このような状況の中で、何とかもっと高校野球を盛り上げられないかという思いから、2017年の夏の大会に向けて、協議会全14局による県内全球場中継、そして地元校の全試合放送実現に向けた取り組みが始まりました。

中継を実施していない球場を誰が(どの局が)どのように中継するのか？費用はどうするのか？全14局が地元校を放送するためのインフラはどうするのか？など解決すべき課題は多くありましたが、WG、協議会の全ての参加者が「とにかく実現に向けてやってみよう！」という前向きな思いを持って臨んだ結果、ひとつひとつ解決していくことができました。そしてそれを通して、愛知県の14局がこれまで以上に強い絆で結ばれたことを実感しました。



愛知県ケーブルテレビ編成制作ワーキンググループのメンバー

愛知県内の球場と中継局一覧

球場名	中継局 (2016年度)	中継局 (2017年度以降)
阿久比球場	CAC	CAC
熱田愛知時計120スタジアム	中継なし	スターキャット・ケーブルネットワーク
一宮球場	中継なし	アイ・シー・シー
岡崎市市民球場	ミクスネットワーク	ミクスネットワーク
春日井市民球場	中継なし	愛知県ケーブルテレビ協議会
刈谷球場	キャッチネットワーク	キャッチネットワーク
小牧市民球場	中部ケーブルネットワーク	中部ケーブルネットワーク
豊田球場	ひまわりネットワーク	ひまわりネットワーク
豊橋市民球場	豊橋ケーブルネットワーク	豊橋ケーブルネットワーク
パロマ瑞穂野球場	スターキャット・ケーブルネットワーク	スターキャット・ケーブルネットワーク

全球場の中継が実現(2017年度)

2017年の夏の大会では、それまで中継していなかった3球場について、2球場は地元の個局が担当、残りひとつは14局が必要な費用を按分することで、協議会として共同制作することとなりました。インフラについては、コミュニティネットワークセンターのIP網を共同利用し、個局のネットワークをつなぎ合わせることで県内10球場と県内14局の光ネットワークを構築することができました。個局でできることは個局で実施し、個局で実施できない部分や共有できる部分は全局で実施するという体制がソフト面、ハード面ともに築き上げられました。こうして2017年夏、協議会全14局による県内全球場約190試合の中継、そして各局地元校の全試合放送が実現しました。



愛知県ケーブルテレビ協議会の高校野球中継で使用しているジングルのロゴ



中継放送のタイトル画面(各球場統一のフォーマットを使用)

そして2年目、継続すること

お客様からも好評だったという声が多く、この取り組みを継続していくことで一致、初年度に取り決めた内容を「全国高等学校野球選手権愛知大会における中継および放送要綱(以下、要綱)」としてまとめました。新たな課題としては、放送を見てもらうための広報の強化、県内14局共同の

取り組みであることをアピールするための各球場中継放送の仕様統一、主催者への放送予定や報告といった事務作業の工数低減などが挙げられました。

2018年初頭、反省会で出された意見を取りまとめ、2018年度の取り組み継続案を経営層による協議会へ提出、ここでも「せっかくの良い取り組みだから継続することが大切」との声をいただき、2年目の取り組みがスタートしました。

目指せ甲子園! 100回目の節目
激闘愛知の目撃者となれ
愛知大会 6/30+~
高校野球愛知大会の試合速報や放送日程が一目でわかる!
CATVase.jp
愛知県ケーブルテレビ14局は高校野球を応援しています!

地元新聞や鉄道などを利用した広告展開

愛知県ケーブルテレビ協議会

全国高等学校野球選手権愛知大会における中継および放送要綱

1. 目的

愛知県ケーブルテレビ協議会(以降、協議会とする)では、ケーブルテレビの基本的理念である地域密着の取り組みのひとつとして、全国高等学校野球選手権愛知大会を盛り上げ、地域を応援するとともに球児たちの熱い戦いを地元の人々へ届けることを目的に大会の中継および放送を実施する。

2. 中継

- (1) 当該大会の会場となる県内全ての球場からの中継を実施する。
- (2) 中継は、原則、球場の所在地を放送エリアとする社が実施する。ただし、諸事情により当該局による実施が難しいと認められた場合は、第4項に定める費用按分の方法に基づき、協議会が実施する。

3. 放送

協議会に所属する全ての社が、自社の放送エリアに所在地を持つ出場校の試合をすべて放送する。

・・・(以下、省略)

「全国高等学校野球選手権愛知大会における中継および放送要綱」(抜粋)

さらなる拡充を目指して(2018年度)

第100回記念大会となった2018年の夏の大会では、さらなる拡充を目指しました。

新たな取り組みとしては、地元新聞や鉄道、リスティングなどの広告展開、共通ジングルや共通テロップフォーマットの制作といった放送の仕様統一施策などを実施したほか、ホームページを一新しました。

「かっとなせ. JP」というホームページは、愛知県のケーブルテレビによる高校野球の放送予定などが集約されたポータルサイトとしてそれまでも運営されていましたが、より見やすく便利なサイトにするとともに、各球場のリアルタイムな試合速報、視聴者からの応援メッセージの掲載など、新たなコンテンツも充実させました。そして各種媒体による広報では、この「かっとなせ. JP」への誘導をメインに展開するなど、まずはこのポータルサイトへ集客し、視聴への誘導を図りました。

さらにもう一点、このポータルサイトの別の役割として、管理画面に入力された各局の放送予定が自動的に主催者等へ送信される機能を持たせました。これによりこれまで各局の編成担当者が個別に作成し送信していた放送予定や報告が一括で行えるようになり作業効率が向上できました。

こうして、拡充を図った2年目も無事、終わることができました。



一新したホームページ「かっとなせ. JP」トップページ



各球場担当者が試合速報をリアルタイムに入力



「かっとなせ. JP」管理画面：放送予定や報告が管理できる

今後も継続することでケーブルテレビの存在感を高める

原稿を執筆している2019年1月現在、既に要綱に基づき2019年度の継続が決定し、今年の夏に向けて3年目の計画が進行しています。

今後もこうして毎年、前年度の反省を踏まえ少しずつ前進しながら継続していくことで、「夏の高校野球県大会はケーブルテレビ」というイメージを浸透させ、地域でのケーブルテレビの存在感をより一層高めていければと思います。